

公益財団法人ちば国際コンベンションビューローが
「ポストコロナに向けた国際会議誘致競争力向上事業」を実施します
～千葉市美術館で版画ワークショップとすしパフォーマンス～

公益財団法人ちば国際コンベンションビューローが、観光庁の「ポストコロナに向けた国際会議誘致競争力向上事業」として、本市で開催される国際会議に係る参加者の同伴者向けプログラムを千葉市美術館で実施しますので、お知らせします。

1 日時

令和5年8月15日（火）10：00～14：00

2 会場

千葉市美術館（中央区中央3-10-8）

3 プログラム内容

（1）美術鑑賞を超えた体験プログラム（5階ワークショップルーム）

ア 世界的に著名な作品や浮世絵の展示

館長によるウェルカムレクチャーや学芸員による浮世絵説明

イ 日本の伝統的技術である版画ワークショップ（多色刷り木版画体験）

（2）すしパフォーマンス（11階講堂）

ア 現役すし職人による房総郷土料理「太巻き寿司」や「江戸前寿司」技術の披露

イ 地産地消食材を生かした昼食や利き酒を通じた千葉の食の魅力の発信



多色刷り木版画体験(イメージ)



すしパフォーマンス(イメージ)

4 参加者（会議参加者の同伴者）

30人（予定）

5 国際会議概要

- (1) 名称 9th International Discussion Meeting on Relaxation in Complex Systems
- (2) 開催期間 令和5年8月12日(土)～18日(金)(7日間)
- (3) 会場 幕張メッセ(美浜区中瀬2-1)
- (4) 主催 9 I D M R C S 組織委員会(委員長 山室修東京大学教授)
- (5) 会議内容 「なぜ渋滞が発生するのか」「なぜ鳥は群れるのか」等、単純な構造でありながら複雑な相互作用により起こる現象「複雑系」を研究・発表し、議論の場を提供する国際会議。物理学、化学、生物物理学、計算科学、材料、医薬品、食品等、その関連分野は多岐にわたる。
- (6) 参加者 30カ国 900人(予定)

6 観光庁実証事業「ポストコロナに向けた国際会議誘致競争力向上事業」について

コロナ禍で実施困難であった国際会議に伴うユニークベニュー(特別な体験)の活用を通じ、「訪日現地参加者数と消費額の増加による経済効果の拡大」等を目的に実施。さらに、通常の国際会議の開催以上の効果を見出し、会議主催者と地域のコンベンションビューロー等の連携により、今まで活用されていなかったコンテンツの掘り起こし、活用例の蓄積を行うもの。

7 本件に関する問い合わせ先

千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟14階
公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー MICE 事業部 担当:片桐・白石
電話 043-297-2752
FAX 043-297-2753
メール shiraishi@ccb.or.jp

<参考>ちば国際コンベンションビューローとは

コンベンション(会議)を千葉県内に円滑かつ効率的に誘致するとともに、県内へ経済効果を波及させるため、千葉県、市町村、企業等が出資し設立された団体で、「MICE事業(※)」、「国際交流センター事業」、「フィルムコミッション事業」を通じて、地域振興や文化共生社会づくりを積極的に取り組んでいる。

※MICE 企業の会議(Meeting)、企業の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字からなる多くの集客効果が見込まれるビジネスイベント等の総称。